

令和7年地域安全作文コンクール最優秀作品

【小学生の部】

大切な人を守るために

石川町立石川小学校6年 曾根 奈歩

最近、ニュースではさまざまな犯罪が報道されています。

犯罪にはたくさんの種類があり、事件の数は年々増えているそうです。そこで、身近に起きやすい犯罪をどうやったら防げるのか、考えることにしました。

一つ目は、子どもへの声かけや連れ去りの犯罪です。

子どもが喜ぶおかしや話題で気を引いて連れ去ろうとするやり方は、だまされやすいし本当に怖いと思います。

これらを防ぐには、まず、知らない人にはついて行かない。そして学校からの帰りなど、なるべく人通りの多い道を選ぶことが大切です。

もし知らない人に声をかけられたら、近くの家やお店に行って大人に助けを求める、相手が車なら進行方向とは反対に逃げるなど、万が一の時の対処法を知っておくことも大事だと思います。

何かあったら直ぐにかけこめるよう、110番の家の場所を確認しておくことも必要です。

できるだけ一人きりにならず、大人の目の届かない場所には行かないよう、わたしもふだんから気を付けたいと思います。

もう一つは、なりすましさぎです。

なりすましさぎは、主に高れい者を狙った犯罪で、家族や警察官のふりをして電話をかけてきて、高額なお金をだまし取るものです。

うそをついて家族を思う気持ちを悪用したり、犯罪にまきこまれていとおどしたりする、とてもずるくてひきょうな犯罪だと思います。

私の家族にも80歳になるばあばがいます。

ばあばは、スマートフォンの使い方も上手ではないし、高れい者なので記憶があいまいになってしまう時もあります。そんなばあばが、なりすましさぎにだまされてしまったとしたら、私は本当に悲しいです。ばあばがさぎにあわないために、私は「あやしい電話はすぐに切った方がいいよ!」と話したり、紙に書いて家の目立つところにはったりして、できるだけ注意してあげたいと思っています。

なりすましさぎを防ぐには、まずは知らない番号の電話には出ない。そしてよく分からない不自然なメールなどには反応せず、すぐに消去することが大切です。もし、知らない番号の電話が何回もかかってくるようなら、警察や信頼のできる人に相談するのがいいと思います。また、かかってきた電話番号をインターネットで調べるなどして、危ない電話かどうかを確認するという方法もあります。

よく分からない内容の電話には一人で対応せずに、何か不安に感じたら、まずは家族に相談することが大切だと思います。

犯罪にはいろいろ手口があって、どんどん進化しているとも聞きます。

私が暮らしている石川町から、犯罪によって悲しい思いをするひ害者は出てほしくありません。

そのためには、一人一人が自分自身で気を付けるだけでなく、弱い立場の人の周りの皆が犯罪に対して意識をもって守ってあげることも必要だと思います。

まずは自分ができることから、身近なところから対策する。

それを徹底して町から犯罪をなくし、安全な町にしたいです。